

第 24 回 栗東市景観百年審議会の議事概要

1 開催日時 令和 2 年 1 1 月 2 7 日 (金) 午前 1 0 時 0 0 分から 1 2 時 0 0 分まで

2 開催場所 栗東市危機管理センター 3 階 大研修室 1・2

3 出席者数 1 0 名中 8 名

4 議 事

1. 報告事項 第 2 3 回景観百年審議会でのご意見について
2. 協議事項 栗東市屋外広告物条例の制定・施行後の取組みについて
景観重要樹木の指定について

5 議事概要

1. 報告事項

①第 2 3 回景観百年審議会でのご意見とその対応について説明。

2. 協議事項

②栗東市屋外広告物条例の制定・施行後の取組みについて説明。

③景観重要樹木の指定について説明。

○意見概要

■①、②について (①、②については関連があることから併せて内容を説明。)

(委 員) 栗東景観賞に選ばれた看板については、どういうところが良かったのかをしっかりと周知してもらうことが大切だと思う。啓発にも繋がり、作られた方にとってもメリットになる。広報誌に載せたり、商業施設等で広く発表していくような機会があると良い。

(委 員) 栗東景観賞に応募される側もその機会に意識が高まる。何か参加賞のようなものがあれば応募数も増えて良いのではないか。

(委 員) 栗東景観賞表彰は、景観広告大賞 1 点、優秀賞 2 点ということなので、応募がたくさん集まった場合に賞がつかないものが多くなる。何か違う形の賞も必要ではないか。賞が少ないと選定が難しくなるので基準をしっかりと設けることも必要である。

(事務局) 参加賞については、今後、事務局の方で検討させていただきたい。応募件数が多いと審査も非常に難しくなるため、基準等の検討をさせていただく。

(委 員) 賞の対象になる広告物は古い歴史的なものも含まれるのか。

(委 員) 古くても伝統的なものはきちんと評価をして、古くても良いもののモデルとして拾いあげても良いのではないか。

(事務局) 許可申請の対象にならない小さな広告物も応募対象にする予定をしており、一旦はそういういったものも広く募集したいと考えている。

(会 長) 賞については、ジャンル分けをすることも考えられる。また、参加賞があっても良いし、応募があったものを市のホームページに掲載するだけでも、製作者にとってはメリットになるのではないか。

- (委員) 案内図板は、制度的にまだ課題があるが、スマートフォン等と連携することにより、情報過多にならないように誘導していくことがガイドラインにかかっている。景観賞の審査基準にもネットや他の広告媒体とうまく連携しながら、景観に配慮している点などを評価基準に加えれば、より良い誘導ができるのではないかと思う。
- (委員) 交通の妨げになる看板について、県の連絡協議会等でどのように課題を共有されているのか。
- (事務局) 交通の妨げになる広告物は基本的に禁止であり、ガイドラインにも載せているが、周知徹底や課題の解決に向けてどのようにしていくかを担当者同士で協議できればと考えている。

■③について

- (会長) 肩かえの松については、これまでも協議をしていただき、様々なご意見をいただいている。今回は皆さんの同意がいただければ指定をしていきたいと考えている。
- (委員) この指定をきっかけに、東海道の松並木の復旧についても考えていただければありがたい。
- (委員) 指定をすることは非常に良いと思うが、歴史的なものだけでなく、集落にとって大事な古い木もたくさんあると思う。そういったものを残すような誘導策があれば良いと思う。そこに大事な木があることを行政が認識して、そのことを喚起したり、住民と共有することが大切である。
- (委員) 「肩かえ」という言葉自体が使われなくなってきているので、言葉とともにぜひ残してもらいたい。そういった歴史的なことも含めて残していくと地域にとっても大事なものと認識していただけるのではないか。
- (委員) 大きな木の場合は、倒木の危険や剪定が難しいなどの面もあるが、肩かえの松に限らずに名木や古い木は残したり登録することも必要だと思う。
- (会長) まずは、1本目ということでスタートしているが、これを契機にさらに指定範囲を広げていただければと思う。維持管理が必要になるので所有者や補助金の関係もあると思うが、景観重要樹木の指定については、今後も積極的に施策を進めていただきたいと考えている。この松については、地元の方の松に対する強い思いなどが評価点になっているといえる。審議会として、肩かえの松を景観重要樹木として指定することに異議はないか。
- (一同) 異議なし。
- (会長) 全員の皆さんから同意をいただいたので、審議会として、肩かえの松を景観重要樹木に指定することを決定させていただく。

(以上)